ニュース **さよなら原発** 第 97 号（11･12 月号） 2021. 11. 11 発行

さよなら原発ひたちなか市実行委員会
連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63　佐藤　英一　TEL：029-273-4775
ホームページ：　http://sayonaragennpatu.wixsite.com/mysite　バックナンバーも掲載

東海第二原発の試運転を認めないことを
住民団体が　5 市 1 村＊ に要請（10 月）

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！

◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。

子どもたちに、安全な未来を

◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことこそ重要です。

東海第二原発は、来年 12 月に工事と試運転検査（使用前 5 号検査）を終える計画です。

この検査は原子炉に核燃料をセットし、通常（定格）レベルで異状なく発電と送電ができるかを点検するもので、危険性が一気に高まります。検査合格すれば営業運転に入るのが普通です。

原発いらない茨城アクション（広域の市民団体）は 10 月に、5 市 1 村を訪問し、

①新安全協定をいかし、5 市 1 村の了解のない試運転検査をさせないこと
②避難計画は住民参加のもとで策定し，実効性を確保すること
を要請しました。

各市村の回答は、住民の要請内容と同旨の市、まだ突き詰めて考えていない村など受け止め方がマチマチでしたが、今後は 5 市 1 村で相談し歩調を合わせて試運転検査問題に対応するとのことでした。5 市 1 村には約 74 万人も暮らしています。原発から 30 キロ圏内なら 94 万人です。市村長には危険な試運転を認めない決断と行動を期待します。

※東海村と周辺の日立、常陸太田、那珂、ひたちなか、水戸市の 5 市。人口は 73 万 7 千人です。5 市 1 村は原子力所在地域首長懇談会（座長は東海村長）を結成し、 2018 年 3 月に東海第二原発を保有する原電（株）との間で新安全協定を結び、1 市村でも反対があれば再稼働しない約束を取りつけて、原電と協議（交渉）しています。

東海第二原発　　再稼働への工程

2019　2020　2021　2022 年 12 月

原電社長 再稼働表明

再稼働工事を強行

～この頃～
県と6市村に事前了解を要求

工事完了

使用前検査合格
＊使用前5号検査

営業運転

*）核分裂で放射能が発生

ニュースの配り手と募金のお願い　ご協力者に感謝します。さらに多数お願いします。

原発なくすのに、保守も革新も、与党も野党も関係ない。
（小泉元首相　水戸・日立講演）

避難も　避難計画策定もムリ

東海第二原発から 30 キロ圏内の 14 市町村は避難計画を作る必要がありますが、出来たと伝えられるのは、避難人口が少なめな 5 市町のみです。その一つの常陸太田市は、基本骨格が決まっただけで、道路寸断時の対応などは決まっていない、感染症対策も考えなければならない、と実効性のないことを認めています。 人口の多い、ひたちなか市、日立市、水戸市などの計画策定は課題が山積し過ぎて、絶対ムリでしょう。

病院や入所型福祉施設も避難計画が必要で、その数は計 605 か所です(表)。策定できた施設でも、避難に必要な救急車*がなく、車いすのまま乗れ、シートが回転する福祉車両で代用する案を知事はほのめかしていますが、寝たきりの患者や高齢者を座らせるわけですから、移動中に重症化してしまいます。

福祉車両もまた不足していて、一体どうするのでしょうか？

表	施設数	策定済	未策定
病院　と 19 床以下の診療所	119	39	80
入所型福祉施設 (高齢＋障害＋児童)	486	280	206

＊県立中央病院では、救急車が延べ１４１台必要だが、１台しか持っていない。
東海村立病院では同じく１０台必要だが、１台も持っていない。

ひたちなか市民の　東海第二原発への 声 声 声

勝田駅前　　高校生(男性)

(スピーチをジッと聞いていた高校生。チラシ配りの女性会員に近づき問いかける。)

高校生：原発なしで電気足りなくならないの？

女性　：太陽光発電、風力、地熱、小規模水力、波力、木材チップなど、いろいろな発電方法が普及し実用化しているので、大丈夫だと思うよ。

高校生：そうかなー！？　↗

と、いかにも心配そうな表情で去っていきました。

女性の感想

若い人は将来を真剣に心配していて、感心もし、心強くも思いました。

高校生の疑問にふ れた会員 2 人の対話

会員A：福島原発事故から 10 年。電力不足はなかった。県内で発電した電力の 1/3 は県外に送られている（橋本知事・当時)。

会員B：常陸那珂港の石炭火力発電所の出力は増強され 265 万ｋＷもある。東海第二は 110 万ｋＷだ。問題は CO_2 の排出削減策さ。

A：うむ。2030 年までに CO_2 を 10 年比で 45%減らすことが世界の目標。　だが現在の対応では今世紀に産業革命前に比べ 2.7℃も上がってしまうという。各国が本気にならないと・・・。

B：だからといって福島原発事故を忘れてはダメだ。原子力規制委員会だって安全性は保証しないと再三言っている。事故ったらどうする気よ。

A：そうだね。日本は化石賞*を返上し、本気で、省エネと再生エネに取組むことだ。既に先進国では、やっている。

*)化石賞：地球温暖化対策に消極的な国に対して、皮肉を込めて授与される賞。